



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -



～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1185回例会 2015年11月7日 No.1154号

■ 会長時間



会長 川中 敬三

第1例会 4つのテスト唱和 THE FOUR WAY TEST

一言行はこれに照らしてから

『1 真実かどうか 2 皆なに公平か 3 好意と友情を深めるか

4 みんなのためになるかどうか』

有難うございます。

今日は少し時間がありますので、毎月第一例会で唱和している4つのテストについて述べてみます。この4つのテストは、今から約80年前の1930年代ハーバートJテラーが創案しました。当初は100語からなるものを、7つの項目に絞り込み、さらに4つにしました。先ず

* 真実かどうか=真実是不変であり、時代を超越するものです。真実は正義なくしては存在し得ません。

* みんなに公平か=現代の世相を反映した激しくやり合うビジネス手法に代わり公平さを取り入れたビジネスは、お互いの関係を傷つけるよりも、その関係向上に役立ってきました。公平と公正の翻訳の意が異なり、ここはすべての取引が公正かを意味します。

* 好意と友情を深めるか=人は生まれながらにして、他者と協力して生きて行く存在であり愛情を示すことは生来備わっている本能です。よって商取引の信用を高め、さらに取引先を増やすかということです。

* みんなのためになるかどうか=この項目は、食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入するものです。すなわち売り手だけが儲かるとか、買い手だけが得をするかということではなく、その商取引によってすべての取引先が適正な利潤を得るかということです。

いずれの項目も高潔で倫理基準の高いものですが、ロータリアンとしてバイブルにすることなのです。

今日は例会日、例会場を変更して、ここエディオンスタジアム広島において広島市小学生体育連盟陸上教室を支援する奉仕活動をしています。朝から参加しておられる皆さん1日長いですがよろしくお願ひします。今年度は25周年記念事業として、広島市教育委員会へ数多くの優勝カップを贈呈しました。其の一環ではありますが、奉仕プロジェクト常任委員会山田理事のもと、国際・新世代伊藤委員長のお骨入りでこの活動をしているところです。この陸上教室が児童生徒にとって意義深いものとなりますよう会員一同のご協力をお願いします。最後になりますが、この後50メートル走に出られる方は、くれぐれも肉離れや骨折しないよう、準備運動をしっかりやって走ってください。今日は以上で会長スピーチと致します。

今回の例会(11月11日)

会員卓話

松田 幸久 会員、竹内 真一 会員、三戸 治郎 会員

次回の例会(11月18日)

ゲスト卓話

広島北ロータリークラブ

石田 平二 様、岡部 知之 様

出席報告 (例会運営委員会)

11月7日(土)出席者

会員総数	53名
出席会員	27名
欠席会員	26名
ご来賓	1名
ご来客	0名
ゲスト	0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

11月7日(土)出席者

広島市立戸坂小学校
校長 島本 靖 様

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】高野 憲一郎 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

来 賓 卓 話

ESD (Education for Sustainable Development) の視点から取り組む教育

広島市立戸坂小学校 校長
島本 靖 様



- 1 新しい時代に求められる人間像
 - (1) 生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新
 - (2) 厳しい挑戦の時代を乗り越え、伝統や文化に立脚し、高い志や意欲をもつ自立した人間
 - (3) 他者と共同しながら価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力が必要

- 2 これからの教育に求められる資質・能力
 - (1) 何を知っているか・何ができるかという個別の知識・技能
 - (2) 知っていること・できることをどう使うかという思考力・判断力・表現力
 - (3) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかという主体性・多様性・協働性、学びに向かう力、人間性

- 3 ESD (持続可能な開発のための教育) の視点
 - (1) 持続可能な社会づくりの担い手を育む
 - (2) 環境、貧困、人権、平和、開発といった現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む
 - (3) 課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す
 - (4) 批判・予測・多面・伝達の力と協力・関連・参加の態度の育成する

- 4 ユネスコスクールとして
 - (1) 体育科と道徳教育を中心に、規範性と思いやりの心を育む
 - (2) 平和教育を充実し、「ひろしま」を発信する
 - (3) 国際理解教育を促進し、異文化理解を図る
 - (4) 特別支援学校との交流により、他者理解を図る
 - (5) 書道、茶道など、伝統的な文化に関する教育を充実する



【別紙】中国新聞記事

広島市小学生体育連盟 陸上教室 支援活動

